第３回　普天間飛行場代替施設の建設に伴う影響に関する協議会
議事要旨

日　時：令和８年２月２７日（金）１５：３０～１６：１３
場　所：総理官邸３階南会議室
出　席：
（政府側）　露木内閣官房副長官、黒瀬内閣府政策統括官（沖縄政策担当）、
熊谷外務省北米局長、伊藤防衛省整備計画局長、
森田防衛省地方協力局長、新田内閣官房内閣審議官
（沖縄側）　渡具知名護市長、徳田辺野古区長、宮城豊原区長、安里久志区長

［議事要旨］

（議題　事業実施による影響と対応について）
○　「基地から派生する諸問題への対応」として、名護市長及び久辺三区長から、主に次の点を要望する発言があった。
・　離着陸帯フェニックスの閉鎖の早期実現を要望する。
・　キャンプ･シュワブの射撃訓練や廃弾処理、航空機による騒音が日常的に発生しており、集落上空の飛行に伴う騒音等の諸問題の解決・改善に向け国が対応するとともに、関連施設の撤去や移設等の前向きな取組を要望する。
・　名護市、米軍、外務省及び防衛省が現地実務者レベルで意見交換できる場の設置を要望する。

○　「基地から派生する諸問題への対応」について、政府側から、次の点を応答した。
・　LZ フェニックスの閉鎖に向け、米側と調整が進んでいるところ、早期の閉鎖に向け、引き続き米側とよく調整を行っていく。
・　一定規模以上の廃弾処理による騒音に係る事前のお知らせについて日米間の合意に基づき運用中。米軍の運用による地元の懸念や不安について、引き続き米側に対し、地元への影響が最小限となるよう働きかけ、対応を求めていく。
・　現地実務者間での意見交換を含め、名護市の具体的なお考えも伺いながら、地元の負担軽減と米軍との信頼関係の醸成のために何が最も適切かという観点から米側と連携して検討していく。

○　また、「久辺三区を始めとする名護市のまちづくりへの支援」として、名護市長及び久辺三区長から、主に次の点を要望する発言があった。
・　久辺三区における農業集落排水整備事業や県道改良工事について、事業進捗を図ることができるよう、国においても必要な支援を要望する。
・　久辺三区の振興については、再編交付金等を活用した各種施策の実施により、住民も目に見えて恩恵を実感。
・　将来にわたりまちづくりを進め、地域コミュニティを活性化していくため、米軍基地の運用が続く間は、継続的に特段の配慮を要望する。
・　久辺三区のまちづくりを着実に進めるとともに、名護市全体に係る取組や継続的なまちづくりを推進するために、政府全体として引き続きの財政的支援等を要望する。

○　「久辺三区を始めとする名護市のまちづくりへの支援」について、政府側から、次の点を応答した。

・　久辺三区における農業集落排水整備事業や県道改良工事について、沖縄県とのコミュニケーションを行いながら引き続き適切に対応していく。このほかに実施中の事業も、久辺三区の要望を踏まえ、名護市とも相談しながら、重点的に取り組んでいる。

・　まちづくり等に関する課題についても具体的な話があったところ、名護市全体に係る取組について、引き続き、市の考えを聞きつつ何ができるかを検討するとともに、今後のまちづくりについても適切に支援していきたい。

（その他）

○　次回の協議会の開催については、事務的に調整していくこととされた。

以　上